

令和3年度ネットリサーチ「反射材用品」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 反射材用品の使用状況については、「使用している」が21.4%となっている。一方で、「持っていない」が60.0%となっている。
- 使用してみたい反射材用品については、「小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）」が40.5%で最も高く、次いで「反射だけでなく発光・点滅するもの」が34.4%と続く。

■調査結果の概要

1 反射材用品の使用状況

◇ 「使用している」が21.4%となっている。一方で、「持っていない」が60.0%となっている。

Q1.茨城県警察では、交通事故防止のため、夜間に自転車や徒歩で外出するときは反射材用品を着用するように呼びかけています。

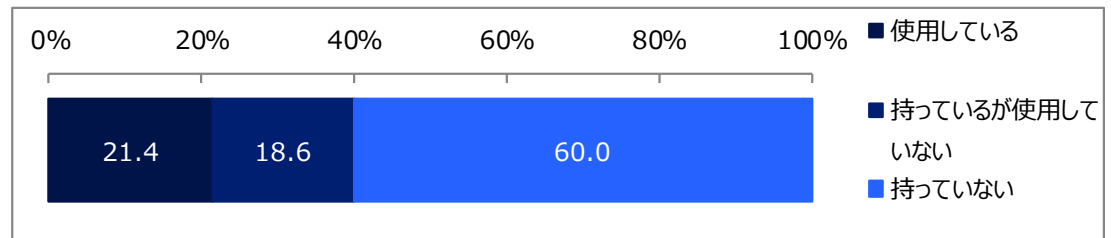
あなたは、夕暮れ時や夜間の外出時に、反射材用品を使用していますか。

※反射材用品とは、自動車の運転者などに自分の存在を知らせるため、自動車のライト等から出る光を反射する交通安全グッズです。詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/reflector.html>

SA

	%	n
全体	100.0	1000
使用している	21.4	214
持っているが使用していない	18.6	186
持っていない	60.0	600



2 反射材用品の入手先

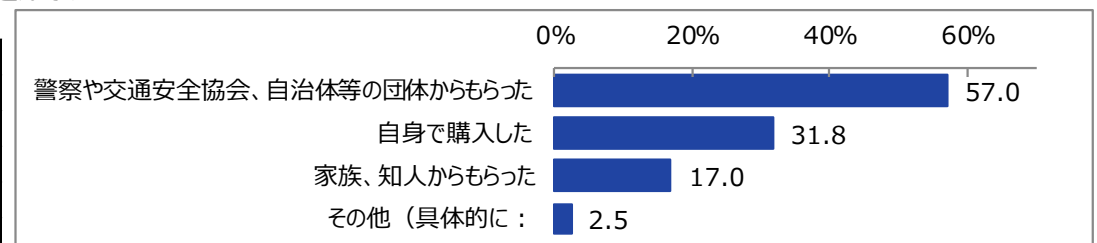
◇ 「警察や交通安全協会、自治体等の団体からもらった」が57.0%で最も高く、次いで「自身で購入した」が31.8%と続く。

(Q1で「1. 使用している」、「2. 持っているが使用していない」と回答した方へ)

Q2.お持ちの反射材用品は、どのように入手しましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	400
警察や交通安全協会、自治体等の団体からもらった	57.0	228
自身で購入した	31.8	127
家族、知人からもらった	17.0	68
その他（具体的に：）	2.5	10



3 反射材用品を使用しない理由

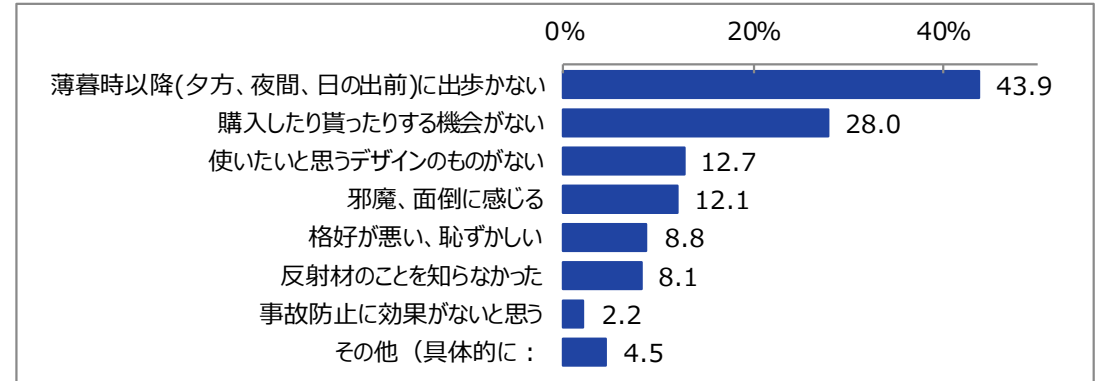
◇ 「薄暮時以降（夕方、夜間、日の出前）に出歩かない」が43.9%と最も高く、次いで「購入したり貰ったりする機会がない」が28.0%と続く。

（Q1で「2. 持っているが使用していない」、「3. 持っていない」と回答した方へ）

Q3.反射材用品を使用しない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	786
薄暮時以降(夕方、夜間、日の出前)に出歩かない	43.9	345
購入したり貰ったりする機会がない	28.0	220
使いたいと思うデザインのものがない	12.7	100
邪魔、面倒に感じる	12.1	95
格好が悪い、恥ずかしい	8.8	69
反射材のことを知らなかった	8.1	64
事故防止に効果がないと思う	2.2	17
その他（具体的に：	4.5	35



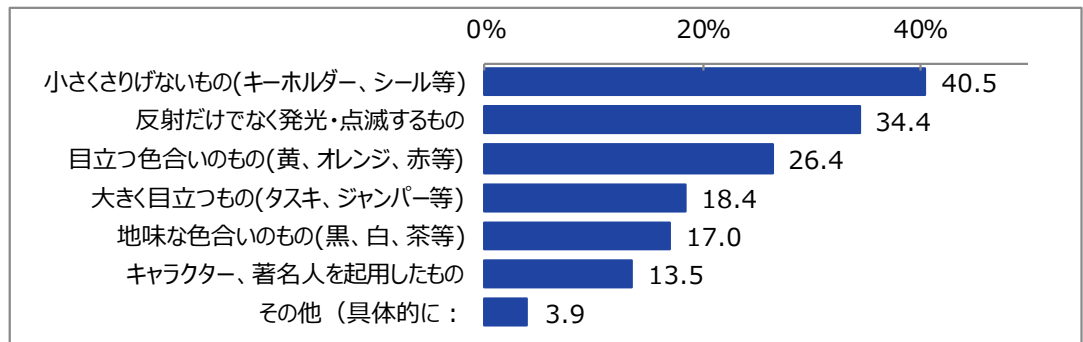
4 使ってみたいと思う反射材用品

◇ 「小さくさりげないもの（キーホルダー、シール等）」が40.5%で最も高く、次いで「反射だけでなく発光・点滅するもの」が34.4%と続く。

Q4.あなたはどのような反射材用品なら使ってみたいまたは使ってもよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
小さくさりげないもの(キーホルダー、シール等)	40.5	405
反射だけでなく発光・点滅するもの	34.4	344
目立つ色合いのもの(黄、オレンジ、赤等)	26.4	264
大きく目立つもの(タスキ、ジャンパー等)	18.4	184
地味な色合いのもの(黒、白、茶等)	17.0	170
キャラクター、著名人を起用したもの	13.5	135
その他（具体的に：	3.9	39



■調査の目的

薄暮時以降の歩行者交通事故防止のために有効である反射材用品について、普及・使用状況等を把握することで、今後の啓発活動の参考資料とする。

■実施概要

- ・実施期間 令和3年9月17日～9月24日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。